

令和 5 年度 第 1 回 北海道支社入札監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和 5 年 8 月 3 1 日 (木) 北海道支社 3 階会議室	
委員 (五十音順、敬称略)	大浦 恵 (公認会計士・税理士) 作間 豪昭 (弁護士) 杉山 隆文 (北海道大学大学院工学研究院教授) 田村 亨 (室蘭工業大学 名誉教授) 平本 健太 (北海道大学大学院経済学研究院教授) 山本 哲生 (北海道大学大学院法学研究科教授)	
審議対象期間	令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日	
抽出案件	総件数 6 件	備 考
○工事	4 件	
・ 一般競争	1 件	・ 道央自動車道 北郷地区橋梁リニューアル工事
・ 条件付一般競争	1 件	・ 道央自動車道 札幌管内舗装補修工事
・ 拡大型指名競争	1 件	・ 道央自動車道 美唄 I C 雪氷施設新築工事
・ 随意契約	1 件	・ 北海道支社管内 自家発電設備燃料槽更新工事
○調査等	1 件	・ 道東自動車道 道路修正設計
○物品・役務	1 件	・ 令和 4 年度 北海道支社広報業務 (除雪広報)
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	な し	

意見・質問	回答
<p>【令和4年度第2回入札監視委員会審議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【入札監視統一事務局の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【入札・契約手続きの運用状況】</p> <p>「工事等業務の発注状況」</p> <p>「競争参加資格停止等の運用状況」</p> <p>「一次苦情及び一次説明処理状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見等なし <p>【抽出事案の審議】</p> <p>「道央自動車道 北郷地区橋梁リニューアル工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）における落札者決定方法は、入札金額ではなく、技術提案内容の評価をもって決定するという認識で良いか。 ・技術提案内容のみならず、金額等も総合して評価する方法もあるかと思うが、本件はどのような経緯で技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）としたのか。 ・技術提案の評価項目が複数あり、中には落札者の点数が相対的に低い項目もあるが、各評価項目における点数の合計を総合的に評価しているということか。 ・本件工事以前に発注したリニューアル工事の経験を踏まえ、改善や見直し等を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。 ・通常は発注の段階で発注者側が仕様を決めて発注を行いますが、本件は立地等の施工条件が難しく、仕様の確定が困難という事情があったことから、技術提案・交渉方式（設計交渉・施工タイプ）を採用しました。 ・そのとおりです。 ・社内の規程類に則り契約手続きを実施しており、特に大きな見直し等は行っておりません。

「道央自動車道 札幌管内舗装補修工事」

・「施工の円滑性」の評価項目において、災害協力の実績を求めている点について、当該実績はどのような理屈で評価項目になっているのか。

・「道央自動車道 北郷地区橋梁リニューアル工事」と異なり、ヒアリングを実施していないのは、何か理由等があるのか。

・舗装の劣化や橋梁の床版劣化が今後も発生することを踏まえ、より耐久性のある新たな材料の使用等、技術力を問うような入札方式も考えられるのではないか。

「道央自動車道 美唄IC雪氷施設新築工事」

・指名者と非指名者（公募）の扱いの違いは。

・材料費の急激な高騰等、不可避的な事情で契約金額に影響が出る場合は、変更契約等で対応するのか。

「北海道支社管内 自家発電設備燃料槽更新工事」

・意見等なし。

「道東自動車道 道路修正設計」

・参加表明者が3者と少ないことから、競争性を確保する目的から、競争参加要件を緩和することも考えられたのでは。

・選定時の評価項目と特定時の評価項目の内容が重複しているように見受けられるが、違いはあるのか。

・災害が起きた際に早急に現場に駆けつけて施工できる体制を構築できるということを、災害時以外においても円滑に施工可能ということと捉え、評価の対象としております。

・舗装補修工事の場合は、当社において施工計画を立てる上での課題や技術的な工夫の余地が比較的小さいことから、技術提案を求めず、施工実績を評価する形式としております。

・材料等に関しては、世間一般的に耐久性の認められたものを設計に反映させることで発注手続きを実施しております。

・指名者は競争参加要件を満たしている旨を事前に確認していることから、競争参加資格確認申請の手続きが不要になります。

・個別の事情を勘案し、やむを得ない事情であれば、両者協議のうえ適正な金額で変更契約を行う等の対応を行っております。

・結果的に参加表明者は3者でしたが、競争参加要件設定時にシステム検索したところ、相当数の者が競争参加要件を満たしていることが確認できたことから、競争参加要件は適切であり、特別厳しいものではないと認識しております。

・選定時には、提出された資料から実績や資格等を機械的に採点しているのに対し、特定時は提出された技術提案書の内容を基にヒアリングのうえ採点しております。

<ul style="list-style-type: none"> ・道路修正設計ということで、1期線施工時の経験等を踏まえ、新たに設計を行おうという意図があるのか。 <p>「令和4年度 北海道支社広報業務（除雪広報）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務の効果についてはどのように把握しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2期線に着手した後に当初の計画額を上回るケースが散見されていることと、当該地域は地質上施工が困難になることが予見されていることから、新たに設計を行う方針としております。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の冬に1回目のアンケートを取っておりますので、次回以降の発注時のアンケート結果により、効果検証ができるものと認識しております。
<p>【審議結果の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札方式別に抽出した6件の案件についての工事等の概要、業者選定理由、入札までの経緯の説明を受け、当委員会において審議したところ、適正に処理されていることを報告いたします。 	